

精進無涯

奥田邦夫さん

それから面白がり、ついでに石を蹴る。これは他の事に惑わされず、とにかく何度も繰り返す。これが眞面目な行為で、絶えず、何でもかんと、ひたすら打こ込む。このようにして、川の流れの音が聞こえなくなる。

極めるということは、すいたお腹にご飯をかき込んで空腹を満たすというようにはいきません。

涯なく繰り返し努めなければなりません。

化学や医学の研究も実験を何度も、また、方法を変え、角度を変え、繰り返すのです。

その後に、極まるのです。